

(株)ストーンワークスが、文部科学大臣表彰を受賞！



今では、鹿児島を代表する風景としてすっかり定着してきた鹿児島市に整備中の市電芝生軌道。この緑化基盤を製造販売している(株)ストーンワークス(上中誠社長)が文部大臣表彰「科学技術賞」を受賞しました。

この賞は、科学技術に関する研究開発、理解増進等において顕著な成果を収めた者について、その功績を讃えることにより、科学技術に携わる者の意欲の向上を図り、もって我が国の科学技術水準の向上に寄与することを目的するもので、4月14日(火)東京都虎ノ門パストラルにて表彰式が行われ、上中社長と共同開発した県工業技術センターの担当者らが参加し受賞されました。

—受賞についてのコメント— 上中誠社長

シラスは、火山の噴火によって生まれた火砕流堆積物で、鹿児島の大半が覆われ、大雨時には崩れやすく、埋め立て材にしか使われない「厄介者」でした。これまでも多くの研究者や企業が開発に取り組んできましたが、製品化までたどり着けませんでした。

今回の表彰においては、単に緑化基盤が評価されたものではなく、半世紀に及ぶシラス活用研究を覆し、緑化基盤材として製品化することができる技術を確認できたことが受賞できた要因だと思います。

まだ、シラスの工業的な製品化は始まったばかりです。用途開発は無限大です。更なる可能性を求めチャレンジし、この落ち込んだ世の中に何か光を放ちたい。

まちの風物詩 ～益丸海岸～



▲賑わいを見せる益丸海岸



▲かにやヒトデが取れたとはしゃぐ子供たち



▲専用の道具を自作。

春の風物詩ともいえる『潮干狩り』。海岸では、この時期になると『潮干狩り』を楽しむことができます。

4月26日(日)、『潮干狩り』にもっとも適した大潮であったため、海岸を訪れると町内外から200人も家族連れ等で賑わっていました。

鹿屋市よりお越しの男性に話を聞くと、「毎年この時期に遊びに来ます。道具は、熊手が一般的ですが、経験を生かして、自作しました。時間が経つのがあっというまで、味噌汁に入れて食べるのが楽しみです」と話されました。

※潮干狩りに良い日時は、大潮や中潮で、水が引いている時間が長い日。干潮時間の2時間前から干潮時までがベストの時間です。

また、『潮干狩り』で取れる貝は、天然に繁殖しているものであるため、取れる量は、潮の引き具合や訪れる時期によって違います。海がめの産卵地でもあるため、車の乗り入れは禁止です。